

ツクシノキシノブ

Lepisorus tosaensis

ウラボシ科

カテゴリー

大分県

環境庁 掲載なし

シダ植物



暖地性の小形常緑シダ植物。溪流沿いの空中湿度が高い林内の樹幹や岩上に着生する。ノキシノブに似ているが、葉の幅が広く、葉がやや込み合っており、葉質が薄い。本県における生育地はまれで、自然状態のよく保たれた空中湿度の高い溪流沿いの常緑樹林内に生えている。森林伐採や林道工事、風水害などによる流失や生育環境の悪化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

(写真：高岡芳憲 文：辻 寛文)

県内分布 耶馬溪地区，日田低地・丘陵地，津江山地，豊後水道後背地域，北川上流域
分布域 本州（静岡・紀伊半島），四国，九州（福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島）
中国南部，台湾